



ダイバーシティ推進室
Diversity Promotion Office

TCU ダイバーシティ通信 VOL.4

共に学び、共に働き、共に築く



次世代育成 Pj.

1月13日(水)TCランチ交流会を開催しました！
「大学院というキャリアパス」～都市生活学部都市生活学科 林 和真 講師～

今年度の2回目となるランチ交流会をオンラインにて開催しました。今回はダイバーシティ推進室員でもある、都市生活学部の林先生にご講演いただいた後、当日参加した学部4年から3年までの学生と懇談しました。

林先生からは、最初に大学院入試制度に関する説明があった後、ご自身の進学から就職までの道のりや現在のライフスタイルについてお話しいただきました。

短い時間ではありましたが、林先生からは、苦労した経験やそれらをどうやって乗り越えたのか、そして研究に取り組む中での楽しみといったことをお話しいただき、参加学生にとって、今後のキャリアパスを考える上での貴重な機会となりました。

また、学年を越えた学生が集った懇談会では、コロナ禍に上下の交流機会に限られる中、こちら情報共有の良い機会となったようで、進学や研究に関する会話が大いに弾んでいました。

ご講演いただきました林先生をはじめ、ご協力・ご参加いただいた学生のみなさん、貴重なお時間をありがとうございました。



Topics

2021年度「ダイバーシティ用語カレンダー」を作成しました！

昨年度に引き続き、ダイバーシティに関する用語を掲載した4月始まりのカレンダーを作成しました。今年度につきましても本学の学年暦を記載しておりますので、ぜひ多くの皆様にご利用いただければ幸いです。すでに教職員の皆様にはお届けしておりますが、追加配付用のものがございまして、ご希望がございましたら当室までご連絡ください。



岡田往子先生と女性活躍推進のあゆみ



2012年より男女共同参画室の初代室長を務められた岡田往子先生がご定年を迎えられました。原子力研究所での研究の日々、2009年の文部科学省科学技術振興調整費の採択、男女共同参画室の前身である女性研究者支援室の立ち上げ、そして現在のダイバーシティ推進室に至るあゆみについて、お話しさせていただきます。

第3回 「多様な人が集まり相互に機能するインクルージョンは夢？」



2007年（平成19年）、私は中村英夫学長（当時）に男女共同参画室の設置を訴え、大学協議会の承認を得て、6月に男女共同参画準備会を設置しました。学長直轄の委員会を設立するにあたり、田口亮教授には委員会構成、組織、位置づけ、規則などの屋台骨づくりに尽力していただきました。私はとえば、科学振興調整費女性研究者支援事業（補助金）の獲得に向けた活動を始めました。採択大学への聞き込みや学協会男女共同参画連絡会関連シンポジウム、JST説明会への参加等を通じ、採択大学の方々からたくさんの有益なアドバイスをいただきつつ、武蔵工業大学の名と岡田の顔を売る活動をせっせと行いました。さらに、応用物理学会の後押しもあって、2008年10月の学協会男女共同参画連絡会シンポジウムに、白木靖寛副学長（当時）の登壇機会を得て、武蔵工業大学の本気をアピールすることができました。

その頃、既に女性研究者支援事業を進めていた先行大学では、工学系における意識改革が進まないという課題が顕在化しており、特に首都圏の伝統校である本学への期待が大きかったように記憶しております。さて、科学技術振興調整費とは、総合科学技術会議の方針に沿って科学技術の振興に必要な重要事項の総合推進調整を行うための経費で、その中の一つに2006年から進められていた女性研究者支援モデル事業（現：科学技術人材育成費補助事業）がありました。この事業の目的は女性研究者がその能力を最大限発揮できるようにするため、大学や公的研究機関を対象として、研究環境の整備や意識改革など、女性研究者が研究と出産・育児等の両立や、その能力を十分に発揮しつつ研究活動を行える仕組み等を構築するモデルとなる優れた取組を支援するもので、我々はこの獲得に動いたのです。

2009年3月初めには、課題「工学イノベーションの男女共同参画モデル」の申請書を、学長、副学長、準備委員会メンバーに目を通していただいた後に提出。6月にめでたく採択の通知が届いた際には、未来への展望に心ときめく思いで、まさかこの時に採択された課題が後に物議を醸すとは、当時の私は予想だにしておりませんでした。2009年と言えば、武蔵工業大学と東横学園女子短期大学が統合し、東京都市大学が誕生した年です。こうした背景もあり、課題「工学イノベーション」には、これまで培った工学系の風土に新たな風が加わり、大きな変化を起こしたいという私自身の夢が盛り込まれていました。



今思えば「岡田ごときに」なのですが、当時はほんとうにそう信じており、新たに加わった領域と交わることで、多様な人が集まり相互に機能するインクルージョンな世界が本学の中に生まれると心から信じていました。大学運営を知らない岡田にとって、それから先には壁が何重にも聳え立ち、女性研究者支援室のメンバーと共にぶつかっては跳ね返されて、くねくねとした回り道を進むこととなります。



* 次回のコラムは6月号掲載の予定です。

イクボス連載企画※ 第2回 ～これまでの子育てを振り返ってみて～

※今回より「イクメン連載企画」から「イクボス連載企画」に名称を変更しました。

イクボス：子育てに積極的に関わる男性をイクメンと呼ぶのに倣い、部下のキャリアと人生を応援し、仕事と生活の両立が図りやすい環境の整備に努める上司（経営者・管理職、男女を問わない）のこと。

子育て中は忙しくてあっという間に時間が経つ時もあるれば、1日が長く感じる時もあるなど、時間の経ち方や感じ方は色々だと思います。

そこで今回は、「子育てを振り返ってみて」をテーマに【事務局総務部 水谷茂喜 部長】より寄稿いただきました。

「イクボス連載企画」の依頼をいただき、私自身3人の父親として、これまで子育てを行ってきましたが、昨年、一番下の娘が社会人となり、子育てに関してはほぼ終了したものと思っておりますので、これまでの子育てを振り返った感想を書かせていただきます。



私の家族は、夫婦と子供3人（長男、長女、次女）そして私の両親との同居の7名で生活をしていました。

息子が誕生した当時は、少子化が強く認識されるようになったものの、まだ育児休業制度等が整備されていないような時代でした。

しかしながら、私の場合には、妻が息子の出産を機に仕事を辞め、子育てに専念したのと私の両親と同居したので、私自身、子育てに関しては、頼れる身内が存在したのが大きく、今更ながら恵まれていた環境だったと痛感しております。



また住まいも「コロナ禍での借りて住みたい街ランキング」で1位となった本厚木駅から丹沢山塊に向かった里山となる七沢森林公園に面した立地にあったことから、休日には裏山の散策やアスレティック等で体を動かす等、子供たちと過ごす環境としては申し分なかったと思っています。（当然通勤には相当な時間を費やしています。）

また常に四季折々の自然と触れ合うことができ、夏にはカブトムシやクワガタ捕り、雪の降った日にはソリでの雪遊び等、よく遊んだことを記憶しています。



今振り返ってみると、妻からは、いつも「我が家は子供が4人いるようで大変だ」と言われ続けてきました。私自身はそんなつもりはまったくありませんでしたが、父親という一面があるものの、どちらかという子供たちのよき遊び仲間的な存在であったようなところから、妻からはそう思われていたのかもしれませんが。

私自身、子育てや子供たちへの接し方においては、まず子供たちといつも一緒にいる「妻との会話、情報共有」を心掛け、そのうえで、「子供との会話・コミュニケーション」、「子供と一緒にいれるときは常に一生懸命に向き合う」などを大切にしていたような気がしています。



振り返ってみれば、子育ては決して楽なものではなかったことは言うまでもありませんが、子供の成長をとおして、色々なことを経験し、そこから多くのことを学ばせてもらい、苦しみよりもはるかに大きな楽しみと喜びを味わうことができた実感しています。



子育てには正解はないと思います。周りの眼を気にすることなく、自分の子育てに自信を持って行動してください。そして子育てはいずれ終了します。そう思うと「子供と接するこの瞬間は今しかない」と思えるようになり、気持ちが楽になるような気がします。子育てを始めてから30年経った今、私の一番の楽しみは、長男の息子である3歳の孫との裏山の散策です。子供たちと歩いた裏山を、孫と手を繋いで歩くたびに様々な思い出が巡り、感慨深さも一入です。

意識改革 Pj.

「LGBT be with you」プレートを作りました！

ダイバーシティ推進室では、セクシュアル・マイノリティの尊厳や当事者への支援を目に見える形にすることを目的として、レインボーフラッグ（虹の旗）をモチーフにしたシンボルマークを作りました。

レインボーフラッグは6色で構成されており、これらの色はLGBTコミュニティの多様性を表し、各色はそれぞれ レッド=生命 オレンジ=癒し イエロー=太陽 グリーン=自然 ネイビー=調和 パープル=精神 を表すとのことです。

各キャンパスのカウンターに設置しています



SC キャリア支援センター



TC 学生支援センター



YC 学生支援センター



当室では2種類のプレートを用意しています。ご希望の方はどうぞお気軽にお声掛けください。

新着図書を紹介

ダイバーシティ推進室では、さまざまな図書を取り揃えています。ぜひお立ち寄りの上、ご利用下さい！



書名：「理系女性のライフプラン あんな生き方・こんな生き方 研究・結婚・子育てでみんなどうしてる？」
著者名：丸山美帆子（編集）長濱祐美（編集）大隅典子（その他）
出版社：研究社メディカル・サイエンス・インターナショナル



書名：図解即戦力SDGsの考え方と取り組みがこれ1冊でしっかりわかる教科書
著者名：バウンド
出版社：技術評論社



書名：「フレディ・マーキュリーの恋性と心のパラドックス」
著者名：竹内久美子
出版社：文春新書



書名：「妻に言えない夫の本音 仕事と子育てをめぐる葛藤の正体」
著者名：松田美枝（編集）
出版社：朝日新書

*次回のダイバーシティ通信は6月発行の予定です。どうぞお楽しみに！

